

調査用紙 1

② 校内委員会について

Q1 校内委員会を設置している学校は、以下の ①～⑦ にお答えください。
設置していない学校は、次ページ Q2 をお答えください。

① 校内委員会はどのようにして組織しましたか。あてはまるものに○を付けてください。

- ① 新たな委員会として設置した
② 既存の委員会等を拡張して位置付けた

↓
*拡張した委員会に○を付けてください

- (a) 就学指導委員会 (b) 生徒指導委員会 (c) 教育相談部会 (d) 校内研修
(e) 職員会議 (f) 保健安全委員会 (g) その他 ()

③ 既存の委員会等を整理統合して位置付けた

↓
*整理統合した委員会に○を付けてください

- (a) 就学指導委員会 (b) 生徒指導委員会 (c) 教育相談部会 (d) 校内研修
(e) 職員会議 (f) 保健安全委員会 (g) その他 ()

- ④ 支援が必要な児童生徒がいた場合その度ごとに組織する
⑤ その他 ()

② 校内委員会の構成員となっている方に○を付けてください。

- ① 校長 ② 教頭 ③ 特別支援教育コーディネーター ④ 教務主任
⑤ 生徒指導主事(主任) ⑥ 保健主事 ⑦ 教育相談主任 ⑧ 学年主任
⑨ 対象児童生徒の学級担任 ⑩ 特殊学級担任 ⑪ 通級指導教室担当者
⑫ 養護教諭 ⑬ スクールカウンセラー ⑭ その他 ()

③ どのくらいの頻度で開催していますか。あてはまるものに○をつけてください。

- ① 月に1回 ② 学期に1回 ③ 不定期 ④ その他 ()

④ 校内委員会で取り組んでいることすべてに○を付けてください。

- ① 特別な教育的支援が必要な児童生徒についての実態把握
② 校内研修会の計画・運営
③ 支援の内容や方法の検討
④ 支援の方策を個別に検討する支援チーム等の計画・運営
⑤ 個別の指導計画の検討・評価
⑥ 個別の教育支援計画の検討・評価
⑦ 保護者の相談・連携
⑧ 保護者や地域への理解・啓発
⑨ 関係機関との連携
⑩ その他 ()

⑤ 対象児童生徒の学級担任及び特別支援教育コーディネーター以外で、実際の特別な支援にかかわっている方すべてに○を付けてください。

- ① 校長 ② 教頭 ③ 教務主任 ④ 養護教諭 ⑤ 学年主任
⑥ 他の学級担任 ⑦ 特殊学級担任 ⑧ 通級指導教室担当者
⑨ 少人数指導担当教員 ⑩ 専科担当教員 ⑪ 補助教員
⑫ スクールカウンセラー ⑬ 図書室司書 ⑭ 保護者
⑮ ボランティア ⑯ その他 ()

6 **5**の方が、具体的に行っている支援のすべてに○を付けてください。

- ① 授業中に対象児童生徒の学級にT Tとして入り、対象児童生徒及び全体に支援や指導を行う
- ② 授業中その児童生徒に付いて指導や支援を行う
- ③ 授業中に抽出して学級外に対象児童生徒に個別指導を行う
- ④ 授業中に抽出して学級外に対象児童を含めて少人数指導を行う
- ⑤ 放課後等、授業時間外に対象児童生徒に個別指導を行う
- ⑥ 対象児童生徒の保護者との面談を行う
- ⑦ その他 ()

7 貴校において、今後、校内支援をより効果的に進めていく上で必要と思われることは、どんなことですか。特に必要と思われること5つ以内に○を付け、右の()に具体的な内容や計画をお書きください。

- ① 管理職の役割 ()
- ② 職員の意識・姿勢 ()
- ③ 校内支援組織の整備 ()
- ④ コーディネーターの専門性の向上 ()
- ⑤ 校内研修の充実 ()
- ⑥ 児童生徒の実態把握の方法 ()
- ⑦ 校内の物的・人的資源の活用 ()
- ⑧ 外部の物的・人的資源の活用 ()
- ⑨ 支援内容や方法の充実 ()
- ⑩ 障害に対する理解・啓発 ()
- ⑪ 保護者との連携 ()
- ⑫ 関係機関との連携 ()
- ⑬ その他 ()

Q2 校内委員会を設置していない学校は、以下の**1**～**4**にお答えください。

1 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒の支援について、どのように取り組んでいますか。あてはまるものに○を付けてください。

- ① 担任のみで対応
- ② 担任を中心に管理職や他の教員が支援

***実際の支援にかかわっている方すべてに○を付けてください**

- (a) 校長 (b) 教頭 (c) 教務主任 (d) 養護教諭 (e) 学年主任
- (f) 他の学級担任 (g) 特殊学級担任 (h) 通級指導教室担当者
- (i) 少人数指導担当教員 (j) 専科担当教員 (k) 補助教員
- (l) 心の相談員、スクールカウンセラー (m) 図書室司書 (n) 保護者
- (o) ボランティア (p) その他 ()

- ③ 行っていない
- ④ その他 ()

2 校内委員会を設置していない理由は次のどれですか。あてはまるものに○を付けてください。
(複数回答可)

- ① 対象となる児童生徒がないから
- ② 委員会を作らなくても対応ができているから
- ③ 様々な委員会が多すぎて校内組織として対応できないから
- ④ 設置が義務付けられていないから
- ⑤ どのような委員会かわからないから
- ⑥ その他 ()

3 貴校において、今後、校内支援を進めていく上で必要と思われることは、どんなことですか。特に必要と思われること5つ以内に○を付け、右の () に具体的な内容をお書きください。

- ① 管理職の役割 ()
- ② 職員の意識・姿勢 ()
- ③ 校内支援組織の整備 ()
- ④ コーディネーターの指名や専門性の向上 ()
- ⑤ 校内研修の充実 ()
- ⑥ 児童生徒の実態把握の方法の検討 ()
- ⑦ 校内の物的・人的資源の活用 ()
- ⑧ 外部の物的・人的資源の活用 ()
- ⑨ 支援内容や方法の充実 ()
- ⑩ 障害に対する理解・啓発 ()
- ⑪ 保護者との連携 ()
- ⑫ 関係機関との連携 ()
- ⑬ その他 ()

4 これから校内支援を進めていく上で具体的な取組の計画がありましたら教えてください。

調査用紙 2

特殊学級担任の先生にお聞きします

(校内に特殊学級が複数ある場合はコピーをして、学級ごとにご記入ください)

Q 1 障害種をお答えください。

- ① 知的障害 ② 肢体不自由 ③ 病弱・虚弱
④ 弱視 ⑤ 難聴 ⑥ 情緒

Q 2 在籍児童生徒数をお答えください。

- ① 1人 ② 2人 ③ 3人
④ 4人 ⑤ 5人以上

Q 3 現任教で特殊学級の担任経験年数をお答えください。

- ① 1年目 ② 2年目 ③ 3年目
④ 4年目 ⑤ 5年目～

Q 4 在籍児童生徒が協力学級で学習する場合、どのような形態をとっていますか。あてはまるものに○を付け、その該当児童生徒数をご記入ください。

- ① 一人で協力学級等へ行き、協力学級担任の支援を受けながら学習している (人)
② 一人で協力学級等へ行き、通常学級の担任による TT 等の指導を受けながら学習している (人)
③ 特殊学級担任が付いて学習している (人)
④ 指導助手が付いて学習している (人)
⑤ 交流学习はしていない (人)
⑥ その他 ()

Q 5 通常の学級に在籍している特別な教育的支援が必要な児童生徒に、どのような指導や支援をしていますか。あてはまることに○を付けてください。(複数回答可)

- ① 対象児童生徒への直接的な指導や支援
→①に○が付いた方は次ページ A にお答えください
- ② 通常学級の担任への助言・相談
③ 対象児童生徒の保護者への助言・相談
④ 児童生徒の実態把握
⑤ 校内委員会への参加
⑥ 支援の方策を個別にチームを作って検討する支援チーム等への参加
⑦ 特別支援教育コーディネーターを兼務
⑧ 指導方法などの情報提供
⑨ 個別の指導計画作成のアドバイス
⑩ 他機関への紹介
⑪ その他 ()
⑫ 行っていない

↓ その理由に当てはまるものに○を付けてください

- a) 特殊学級在籍児童生徒への指導で手一杯で、ほかに指導する余裕がない
b) 校務などで多忙なため支援する時間がない
c) 専門ではないので、どのように支援をしていけばいいのかわからない
d) 特殊学級担任以外で支援が行われている
e) 該当の児童生徒がいない
f) その他 ()

A

Q 5で ①に○を付けた方にお聞きします。

* どのような直接的な指導や支援をしていますか。

- | | | |
|---|----|-----|
| a) 特殊学級における個別指導 | (週 | 時間) |
| b) 特殊学級において特殊学級在籍児童生徒と一緒に指導 | (週 | 時間) |
| c) 特殊学級以外の場での個別指導 | (週 | 時間) |
| d) 特殊学級在籍児童生徒の交流に付き添う時間での指導や支援 | (週 | 時間) |
| e) 特殊学級在籍児童生徒がいない通常の学級での指導や支援 | (週 | 時間) |
| f) 放課後等、学習等につまずきがある児童生徒が、自由に学習できるオープン教室等による指導 | (週 | 時間) |
| g) その他 (| |) |

Q 6 これからの特別支援教育の中で特殊学級担当者の活躍が期待されていますが、校内支援に積極的に特殊学級担当者がかかわっていくためには、どのようなことが必要であると思いますか。特に必要であると思われるもの3つに○を付けてください

- ① 特殊学級担当者の指導時間の確保
- ② 人的な配慮
- ③ 特殊学級担当者の専門性の向上
- ④ 交流教育や共同学習の促進
- ⑤ 校内支援体制の確立
- ⑥ 職員の共通理解や協力体制
- ⑦ 関係機関との連携
- ⑧ 対象児童生徒保護者の理解・連携
- ⑨ 通常学級の児童生徒全体の理解・啓発
- ⑩ 保護者や地域の理解・啓発
- ⑪ 適正な就学指導
- ⑫ その他 ()

Q 7 特殊学級担任として校内支援に携わる中で、お考えのことがありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。